➜ 目次へ

仏教学研究科　仏教学専攻

正科生	修業年限 ： 2年	在籍年限 ： 6年（ただし、休学期間を除く）
科目等履修生	受講期間 ： 1年	

1. 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

仏教精神に則り学術の理論及び応用する能力を身につけていること。
仏教についての専門的知識を身につけていること。
仏教の人間観、死生観に基づいて、社会の様々な課題を解決できる能力を身につけていること。
人間と社会環境に関して幅広く理解できる能力を身につけていること。
人間の精神、思考の根源の上に立って人間関係の新しい構築や修復を図れる能力を身につけていること。

2. 教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー）

仏教学専攻（修士課程）においては、建学の仏教精神に基づいて人間尊重の立場に立った研究活動を行い、仏教学に関する専門的な知識を修得し、実践力に優れた専門的な職業人もしくは研究者を養成するために必要な教育課程を編成する。この目的を達成するために、通信教育部の特性を活かし、授業形態としてレポート授業、ICTを活用した遠隔授業、及び、対面授業の三種の授業形態を用意し、学生の多様なニーズに対応する。

1. 必修科目として「仏教学特論」と「仏教史特講」を置くことで（2020年度入学生～）、本研究科のすべての学びの基礎となる仏教学と仏教史について学修することができる。
2. インド、中国、東南アジア、日本の思想・文化をそれぞれ学修する選択科目を複数設けることで、各自の関心にしたがった多様な学びが可能となっている。
3. 「真宗概論」「真宗史」「真宗学特講」「浄土教理史」「真宗文献講読」「浄土教特講」などの選択科目を置くことで、本学と関わりの深い浄土真宗について総合的・体系的に学ぶことができる。
4. 「現代仏教特殊研究」「近代仏教特講」「ターミナルケア特論」などの選択科目を置くことで、仏教精神に基づく社会実践活動について学ぶことができる。
5. 必修科目の「特定課題研究演習」を履修することで、「仏教における人間観」「仏教史における諸問題」「現代社会の諸問題と仏教」のいずれかのテーマのもとに、指導教員の指導のもとに、主体的な文献研究を適切に行うことができる。

● 修了要件

32単位以上（必修12単位／選択20単位以上）

2年以上在学し、「仏教史特講」、「仏教学特論」、選択科目20単位以上を含む28単位以上を修得し、かつ特定課題研究演習（4単位）の成果の審査および試験の合格が必要です。修了時には**修士（仏教学）**の学位が授与されます。

● 「特定課題研究演習」の履修条件

1年次の「仏教史特講」および「仏教学特論」の単位修得、並びに履修前年度の指定された日までに研究計画書が提出されていることを条件とします。

➜ 目次へ

3. 2023（令和5）年度 カリキュラム

スタディガイドは WBT の「シラバス」内に掲載しています。
スクーリングを受講する場合は、授業料のほかに**「スクーリング申込」**と**「スクーリング受講料の納入」**が必要です。

●: 学階課程［必修］ ○: 学階課程［選択］ ■:本願寺派教師資格科目に読み替え可

科目区分	科目名	単位数 必修	単位数 選択	授業料	学習方法	スクーリング受講料	備考
1年次							
人間学・仏教系科目群	仏教史特講 ○■	4		44,000	R	−	
					S	30,000	
	仏教学特論 ●■	4		44,000	R	−	
					S	30,000	
1・2年次							
人間学・仏教系科目群	現代仏教特殊研究		4	44,000	S	30,000	
	人間学特講		4	44,000	R	−	
					SR	15,000	
	人間倫理特論		4	44,000	S	30,000	
	ターミナルケア特論		4	44,000	S	30,000	
					SR	15,000	
仏教・思想系科目群	インド思想特講		4	44,000	R	−	
					S	30,000	閉講
					SR	15,000	
	インド語仏教文献講読		4	44,000	S	30,000	
	中国思想特講		4	44,000	S	30,000	
	近代仏教特講		4	44,000	R	−	
					S	30,000	
	インド仏教特講 ●		4	44,000	R	−	
					S	30,000	
	中国仏教特講		4	44,000	R	−	
					S	30,000	
	東南アジア仏教特講		4	44,000	R	−	
					S	30,000	
	外国語仏教文献講読		4	44,000	S	30,000	
	浄土教特講 ●		4	44,000	R	−	
					S	30,000	
	真宗概論 ●■		4	44,000	R	−	
					S	30,000	
	真宗史 ○■		4	44,000	R	−	
					S	30,000	
	浄土教理史 ●		4	44,000	S	30,000	隔年開講
	真宗学特講 ●■		4	44,000	S	30,000	隔年開講(休講)
	真宗文献講読■		4	44,000	S	30,000	
	仏教文化特講		4	44,000	R	−	
					SR	15,000	
2年次							
特定課題研究演習	特定課題研究演習	4		44,000	−	−	

選択科目： 8単位を上限に人間学専攻の開講科目を選択することができます。

➜ 目次へ

4. 浄土真宗本願寺派教師資格

武蔵野大学大学院通信教育部仏教学研究科にて以下の科目の単位を修得することで、上記資格を修得するために必要な一部の科目にすることができます。

本山教師科目		本学開講科目 通信教育部（本願寺派教師資格コース）		本学大学院開講科目	
科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数
真宗教義	4	真宗教義	4	真宗概論　（注 1）	4
				真宗学特講　（注 1）	4
				真宗文献講読　（注 1）	4
真宗史	4	真宗史	4	真宗史	4
仏教教義	4	仏教基礎入門	4	仏教学特論	4
仏教史	4	仏教史	4	仏教史特講	4
宗教概説	4	宗教学概論	4		
宗門法規	2	宗門法規	2		
勤式作法実演	4	勤式作法	4		
法話実演	4	布教法	4		
合計	30	合計	30	—	—

（注 1）3科目の中のいずれか 1 科目の単位を修得することで「真宗教義」の単位修得に代えることができます。

浄土真宗本願寺派教師資格は、浄土真宗本願寺派の寺院住職の基礎資格となります。この資格を取得するためには、次の①～④の要件をすべて充足する必要があります。

① 浄土真宗本願寺派の得度習礼所に入所し、**11日間の得度習礼**及び得度式を受式し、浄土真宗本願寺派の僧侶となること。
② 本学が開講する浄土真宗本願寺派教師資格の取得に必要な科目（表の太字下線）**30単位をすべて修得し**、本学所定の**浄土真宗本願寺派教師資格課程履修証明書**を取得すること。
※　　の科目については、大学院開講科目にて代替することが可能です。
※本学は教師養成施設として認定されているため、上記①の前でも必要科目の履修を始めることが可能です。
③ 前記①および②の後に、宗派主催の教師教修出願資格試験を受験し、合格すること。
※出願資格試験は本山で年に複数回実施。受験希望者がいる場合に年1回本学を会場として実施する可能性有。
※資格取得希望者は該当科目受講者名簿の本願寺提出について同意が必要です。同意されない場合は浄土真宗本願寺派教師資格課程履修証明書を出すことができません。
※この試験の合格者に教師資格審査会から交付される資格試験合格証の有効期限は5年間です。
④ 浄土真宗本願寺派教師資格試験合格証を取得した後、浄土真宗本願寺派の教師教修所に入所し、**10日間の教師教修**を受けること。

＜本資格制度の詳細及び最新情報については、浄土真宗本願寺派のホームページでもご確認ください＞